

かわしま 川島まさひろNEWS ニュース



●発行所：公明党川崎市議会議員団
●印刷所：株式会社光明印刷 川崎市幸区塚越4-345
●発行人：川島雅裕
川崎市中原区井田3-17-20-405
TEL : 044-799-1021

平成27年度決算 決算審査特別委員会



決算審査特別委員会 委員長就任

環境 環境学習施設に水素エネルギーの展示を！

川島まさひろは、平成25年度決算審査の質疑で、市の環境学習施設である「かわさきエコ暮らし未来館」を小中学校の環境学習で活用するよう提言。

その後、市の取組みが強化され、平成27年度には、利用校が10校、1524人増加しました。新しくオープンした「王禅寺エコ暮らし環境館」でも同様の取組みを求めました。今後は、施設内に川崎市が推進する「水素エネルギー」の新たな展示も行うよう提案しました。



「王禅寺エコ暮らし環境館」

財政 下水道事業会計 一般会計負担軽減を！

川島まさひろは、下水道事業における一般会計の負担軽減に向けた取組みを確認。

質疑の中で、平成28年度が短期的に集中したインフラ整備に要した債権の償還ピークであるとの説明を受け、歳出の平準化を図り、一般会計への負担軽減に努めるよう求めた。

また、今後推進していく集中豪雨対策や震災対策にかかる工事費の増加に対する懸念について、市は「事業の優先順位付けや重点化を図る」と平準化への取組みを明らかにしました。

第3回定例会代表質問 空家対策、交通施策を担当

川島まさひろは、「空き家」による衛生面や防犯面等の被害について、川崎市でも市民の不安が高まりつつある事を指摘し、相談体制の強化を求めました。

まちづくり局長は、所有者等に対する「総合的な無料相談窓口」をこの秋に開設予定である事を明らかにし、近隣住民からの相談には、各区役所で丁寧に相談を受け、個別の状況に応じて、適切な対応を図ると答弁しました。

「交通施策」では、ホーム転落死亡事故の再発防止を求め、武蔵小杉駅をはじめ、市内主要駅へのホームドア設置を早期に整備するよう求めました。また、JR南武線の混雑緩和に向けて、車両数を増やすよう改めて要望しました。



現地調査 ひきこもり支援 藤里町社会福祉協議会

社会福祉協議会が「ひきこもり支援」に挑戦。「藤里方式」として全国の自治体が注目しています。これまで活用されなかった、介護の現場から得られる、ひきこもり状態の方の情報を支援につなげる取組みを調査。菊地所長「ひきこもりの状態と個人が持つ経験・能力は別」能力を引き出す情熱とアイデアを伺うことができました。



現地調査 給食公会計化 山形市学校給食センター

川崎市では、3か所の給食センターを整備し、来年度から中学校給食をスタートします。

山形市は日本で初めて給食がスタートした都市であり、給食センターの運営にも歴史があることから運営の課題について調査。

また、昨年度から導入した「給食の公会計化」について課題やメリットをヒアリングしました。



川島まさひろのホームページへアクセス！

(市民相談などお気軽に)
声をかけてください。
www.kawashima-m.com/
●ぜひ、一度アクセスしてください。

議会 電話：044-200-3361 | E-mail：
FAX：044-245-4137 | kawashima@komei-kawasaki.com

現地調査 成年後見人制度 山形市社会福祉協議会

成年後見人制度は、親族関係の希薄化や単身高齢者の増加により、親族申し立てが減少し、市長申し立てを行うケースが増加傾向にあります。

山形市では、市長申し立てが増加する中、受任者不足が要因で後見人受任に期間を要するケースが課題になっていました。

市長申し立ての案件で「ケース方針調整会議」(弁護士会・社会福祉士会・司法書士会・社協・行政で受任者調整を行う)を設ける事により、受任までにかかる期間の短縮に成果が見えました。



現場の声を力タチに

川島まさひろは、平成23年第3回定例会で、応急給水施設が整備されていない避難所があることを指摘し、「応急給水施設があっても、適切に使用できるか不安」との市民の声を伝え、水道管耐震化計画の見直しを求め、避難所への早期整備を求めた。

上下水道事業管理者は「小学校等の避難所への供給管路につきましても、耐震管の更新を優先的に実施することを検討する」と答弁。5年後の現在、避難所に指定されている小中学校への水道管耐震化と校庭の「水飲み場」を「開設不要型応急給水施設」とする整備が進められている。

今年度までに20か所が予定され、平成35年までには、全ての小中学校に整備が完了する予定です。

